

# 特別展覧会

没後20年



## 「利根山光人 VIVA MEXICO」展

—メキシコに魅せられた太陽の画家—

### ごあいさつ

聖徳学園の創立者である川並香順先生は、聖徳太子の「和」を建学の精神とし、すぐれた環境の下で情操教育を進めなければならないと絶えず話されていました。1964(昭和39)年の聖徳学園短期大学(現 聖徳大学短期大学部)新校舎建築に際しても、「校舎は箱を作るだけではなく芸術的な環境が大切である」と説かれました。これに賛同されたのが、画家であり、聖徳学園高等保育学校で教鞭をとられていた利根山光人先生(1921-1994)です。利根山先生は、設計や色彩計画等の企画に参画し、芸術的な教育環境づくりを目指しました。こうして学園内には魅力あふれる壁画がいたるところに設置され、「聖徳学園は美術の園」と称されるまでになりました。

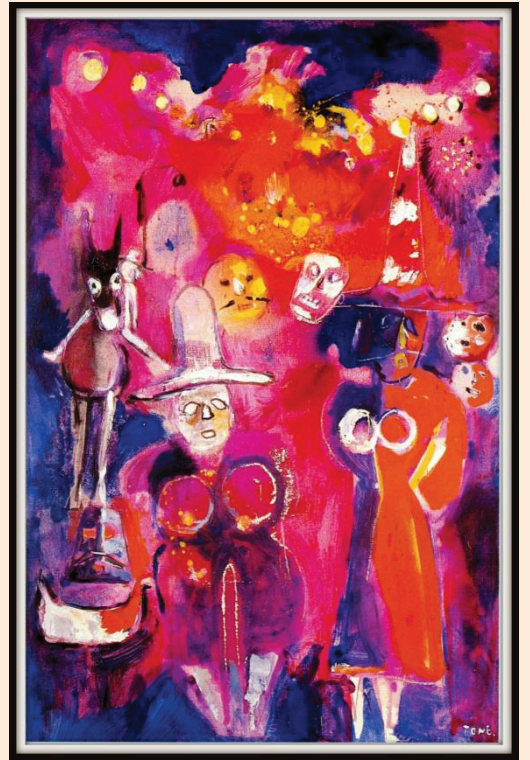
一方、画家としての利根山先生は、メキシコのマヤ文明に触発され、古代遺跡をモチーフとした絵画作品を数多く残されています。また、メキシコとの文化交流にも力を注ぎ、メキシコにおける最高文化勲章であるアギラ・アステカ・ブラーカ章を受章されています。

本年は、利根山光人先生の没後20年に当たります。この機に、本学が所蔵している利根山作品の中からメキシコを題材とした絵画を中心に展示し、利根山先生の画業を回顧します。

メキシコを愛し、情熱的な作品を数多く残し、“太陽の画家”と呼ばれた利根山先生の世界をご堪能ください。

平成26年9月8日

学校法人東京聖徳学園理事長  
聖徳大学学長  
聖徳大学短期大学部学長  
学園長 川並 弘純



初公開

カーニバル 66  
1966年 油彩  
59.3×89.3 cm

VIVA MEXICO

1980年 油彩  
160.5×129.4 cm



初公開

創造  
1974年 油彩  
111.3×144.3 cm



鷲  
1960年 油彩  
116.0×90.0 cm



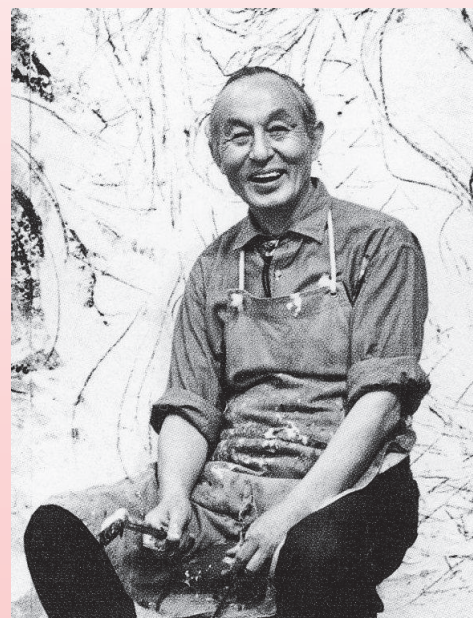
古代幻想  
1976年 油彩  
90.0×115.0 cm



トリト(闘牛踊り)  
1972年 油彩  
60.0×49.0 cm

# 利根山光人先生の略歴

- 1921(大正 10)年 [0 歳] 9月19日茨城県結城市に6人兄弟の末子として生まれる。
- 1939(昭和 14)年 [18 歳] 早稲田大学高等師範部国語漢文科に入学。
- 1943(昭和 18)年 [22 歳] 早稲田大学高等師範部国語漢文科卒業。静岡の農業学校に教師として勤める。
- 1945(昭和 20)年 [24 歳] 1月 栃木県烏山女学校に国語の教師として勤める。  
10月 彌恵子夫人と結婚。  
烏山女学校を退職、上京。
- 1954(昭和 29)年 [33 歳] イリゼ・グリリー女史により、ジャパントイムズその他で大きく取り上げられる。この頃教員生活から去り、画業に専念する。「利根山光人石版画集」刊行。
- 1955(昭和 30)年 [34 歳] 日本版画協会会員になる。5月～古代遺跡の美を求めてメキシコに渡る。
- 1959(昭和 34)年 [38 歳] メキシコからの帰途、ヨーロッパ各地、インドを廻る。その間にアルタミラ洞窟、ラスコー洞窟などを見学。聖徳学園高等保育科の講師になる。
- 1960(昭和 35)年 [39 歳] マヤ拓本採集のため、秘境ポナンパク及びパレンケ遺跡、マヤ遺跡を訪ねる。
- 1962(昭和 37)年 [41 歳] 聖徳学園短期大学キャンパスの建築にかかわる色彩計画、装飾、壁画を手がける。
- 1965(昭和 40)年 [44 歳] 聖徳大学1号館玄関に聖徳学園壁画第1号としてモザイクタイル壁画「若さ」制作。
- 1967(昭和 42)年 [46 歳] 聖徳大学6号館、陶版壁画「太陽」制作。これより先、聖徳大学、附属学校に次々と壁画、レリーフを制作。
- 1970(昭和 45)年 [49 歳] パレンケで発見されたマヤの秘宝「ヒスイのマスク」の国外出品の特別許可をメキシコ大統領より得る。後に日本における最初のマヤ文明展(日本橋三越)(1972.8.8～20)を実現する。
- 1972(昭和 47)年 [51 歳] メキシコ政府よりアギラ・アステカ・エンコミエンダ章受章。
- 1973(昭和 48)年 [52 歳] 紺綬褒章受章。朝日新聞連載、松本清張作「火の回路」(6.16～1974.10.13)の挿絵担当。イランに取材旅行。
- 1979(昭和 54)年 [58 歳] 9月愛媛新聞主催「利根山光人の世界」いよてつ そごうで開催。
- 1981(昭和 56)年 [60 歳] 聖徳学園川並記念講堂の緞帳「無限」に対して、第6回吉田五十八賞受賞(建築美術部門)
- 1982(昭和 57)年 [61 歳] 聖徳学園セミナーハウス山中湖荘、モザイクスタイル「宇宙」、ステンドグラス「夜」「昼」制作。3.2～29メキシコ訪問。12.23～31中国訪問。
- 1983(昭和 58)年 [62 歳] 6.19～7.1スペイン訪問。7.15～8.3フランス訪問。
- 1985(昭和 60)年 [64 歳] 5.17 活力ある文明批評を内蔵した幅広い造形活動に対して、第17回日本芸術大賞受賞。7月から10月にかけて、メキシコ、インド訪問。
- 1987(昭和 62)年 [66 歳] インド訪問。5月、メキシコ政府より再度最高文化勲章アギラ・アステカ・プラーカ章受章。
- 1988(昭和 63)年 [67 歳] インド、メキシコ訪問。
- 1989(平成 1)年 [68 歳] 「第3回住まいの絵画コンテスト」(朝日新聞社主催)の審査委員長を務める。
- 1990(平成 2)年 [69 歳] 1月中国訪問。5月スペイン訪問。
- 1991(平成 3)年 [70 歳] 9月ロンドン訪問。
- 1992(平成 4)年 [71 歳] 3月中国訪問。9月メキシコ、アメリカ訪問。11月再び中国訪問。
- 1994(平成 6)年 [72 歳] 病床にありながら、聖徳大学クリスタルホールに制作する壁画のスケッチにとりかかる。4月14日心不全のため逝去。享年72歳。



会 期 : 平成26年9月8日(月)～12月20日(土)  
午前9時～午後5時 (休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)

会 場 : 聖徳大学1号館8階 聖徳博物館  
JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線とも松戸駅下車、  
東口より徒歩5分 (学内に駐車場はありません)